

◆全体を通じての質疑応答・意見等

○テーマAポイ捨てのまとめで、片瀬・江の島は観光地だから路上喫煙禁止区域にすることはデメリットが多いと話があったが、観光地だからこそ逆に推進してほしいと思います。
 (協議会)ワークショップでは、片瀬・江の島も指定できないかと意見があげられました。タバコのポイ捨てが多い場所の意見を出し合ったところ、駅やコンビニ周辺の決まった場所であることがわかりました。散歩時に袋を持ち、ポイ捨てされたゴミを拾う等行動することで、きれいになるのではないかと意見がありました。

○川崎で13歳の子どもが惨殺される恐ろしい事件があり、学校・地域・家庭で防げなかったのかという思いがあります。片瀬しおさいセンターのふれあいルームでは、ルールを守れない中高生が器物を荒らすことがありました。居場所が子どもたちにあるのか、内面的なことを話す場があればいいと思います。
 (協議会)以前、まちづくり事業で駅前を夜にお掃除をする「お掃除隊」を発足し、バイクなどで遊び回る子に声かけを行い、掃除を通じて接点を持つことを行いました。その子たちは自分自身を取り戻し、たむろすることに飽きて解散しました。成長過程において悪いことをしている子も、同じことを何度もしていくと飽きていくものです。

公民館では週に1回見守り活動を行い、中高生と会話をする機会を作っています。地域の方々も一緒に見守っていただければと思います。
 (事務局)川崎の事件は、「子どもたちだけが報道されており、親や市や大人たちが出てこない点に違和感を感じている。」との意見を聞いています。気になる課題ではありますので、意見交換をしていければと思います。

○不審者情報を片瀬・江の島地区全体に即座に知らせる情報の手段は、ないのでしょくか。地域全体で情報の認識の共有をするべきだと思います。例えば、防災行政無線を使って情報を流してもらうことはできないのでしょうか。
 (事務局)情報は、警察から地域に発表していい情報として確認をとった上で発表することになっています。学校と警察から流す情報を確認した上でお伝えしているので、時間がかかっておりますので、学校、警察と相談をしていきたいと思ひます。防災行政無線の活用のご意見、参考にさせていただきます。

◆地域課題を検討しています！

協議会では、今回の地区集会でいただいたご意見を踏まえ、他の地域課題も含め、取り扱いや解決に向けた方策について検討しています。その経過については、今後の地区集会やまちづくり通信等の機会にお知らせいたします。

◆地区集会参加者アンケートの意見

ワークショップで取り上げたいテーマについて

- 地域の福祉
- 郷土文化の活性化(高齢者も元気になれる)
- 観光客の流れを片瀬・片瀬山に向けるには。空き家の利活用とリンクさせたい。
- 10代の子どもたちとの交流(居場所)

第2部 活動報告・今後の展開について

- とても多方面に活動していることがわかりました。
- 今まで知らなかった活動内容を知ることが出来ました。
- 報告はポイントを押さえて、簡潔な表現にしてほしい。言葉が多すぎ、頭にも心にも入っていきにくいです。資料を読めば済むことも多いと感じてしまいました。
- もう少しスピーディーに進めてほしい。
- フィールドに出て活動したら良いと思う。
- 参考になりました。

日頃感じている地域の課題などについて

- 参加者が少なく残念です。どうしたら参加者が増えるのでしょうか。皆さん満足されているから参加者が少ないのならばいいのですが。
- 皆様の日頃の話し合い、会議の内容が充実しているのに感謝し、よりよい片瀬地区の発展を望みます。
- 何をやるにしても資金が必要となる。税金は有意義に使ってほしい。
- 戸別収集になってメリットが多いのかわかりませんが、デメリットは町全体が大きなゴミ箱という感じです。
- 初めてまちづくり協議会に参加をさせていただきました。皆様方の熱意に感心しました。関係各皆様ごくろうさまでした。

※同様なご意見については、まとめさせていただきました。

笑顔であいさつ
明るい片瀬



平成24年度あいさつ運動推進標語
一般の部最優秀賞 畑中松江さん

片瀬・江の島まちづくり協議会



第十四号
 発行日 2015年(平成27年)3月25日
 発行 片瀬・江の島まちづくり協議会
 発行人 長谷川 紀夫
 事務所 片瀬市民センター内
 0466-27-2711 FAX0466-25-8907
 Kata-city.fujisawa.kanagawa.jp
 片瀬地区ポータルサイト
 http://fujisawa-katase.ecom-plat.jp

ワークショップで 熱い議論が 取り交わされました！



2015年2月28日(土)午後1時からスタッフ含む67人の参加のもと、片瀬・江の島まちづくり協議会(片瀬地区郷土づくり推進会議の通称。以下「協議会」といいます)の主催により、平成26年度第3回地区集会を開催しました。今回は、第1部では地域課題を取り上げたワークショップで意見交換を行い、第2部ではまちづくり事業や地域課題検討の取り組み状況についての活動報告と平成27年度に向けた展開についてご説明し、有意義な意見交換の場となりました。

第1部 テーマ別ワークショップ → 裏面特集記事をご覧ください

関心のあるテーマへ出席した参加者、進行役やスタッフも含めて、生活や活動をしている同じ地域の住民として一緒に考え、活発な意見交換を行うことができました。ここでは、ご意見の一部をご紹介します。これらのご意見を踏まえて、協議会では今後の課題の検討や活動へ反映していきます。

第2部 協議会活動報告と今後の活動計画 → 次回第15号まちづくり通信でお知らせします

今年度1年間のまちづくり事業・地域課題の取り組み状況と平成27年度に向けた今後の展開について説明を行い、意見交換をしました。説明の内容については、次号まちづくり通信カラー版で特集を組んでご報告させていただきます。

◆全体を通じての質疑応答・意見等 → 最終面をご覧ください

地域で生活している中で疑問に感じていること、まちの環境に関する意見をいただきました。

◆地区集会参加者アンケートの意見 → 最終面をご覧ください

参加者アンケートの意見を最終ページに掲載しております。テーマ別ワークショップの感想や、今後のワークショップで取り上げたいテーマ、また日頃感じている地域の課題など意見をいただきました。

第2部の報告で映写いたしました片瀬地区ボランティアセンター(ひだまり片瀬)を取り上げた藤沢市広報番組・ふじさわ情報ナビの「地域の縁側(交流スペース)モデル事業がスタート」のDVDについて、ご覧になりたい方へ貸し出しをしておりますので、片瀬市民センターまでお問い合わせください。

テーマA ポイ捨てなくそう！きれいなまちに作戦会議 ～みんなの知恵とチカラから

参加:24人(三鶯進行役, オブザーバー[片瀬地区生活環境協議会, 藤沢市環境部環境総務課, 藤沢市保健所生活衛生課]を含む) 会場:第1談話室

犬のフンの放置やタバコのポイ捨てなど、日頃感じている地域の環境に関する問題点を共有し、解決に向けた方向性を探るため、テーマごとに意見を出し合いました。

<意見の概要>

1. ゴミのポイ捨て

- アパートで、無造作にゴミを出している人がおり、カラスに狙われ散乱していることが多い。アパートのため誰が出しているのかわからない。
 - カラスはプラゴミも狙う！
 - コンビニや公共のゴミ箱がなくなってきていると感じる。観光地には必要ではないか。
 - 観光客へは、ゴミの持ち帰りを促しているが、ゴミを持って電車に乗りたくない気持ちもわかる。
 - 買った商品そのものに「ゴミは持ち帰りましょう」と記されていれば、少しは問題意識が高まるのではないか。
 - ポイ捨ての意識は人それぞれだと思う。誰でもわかるよう案内を作ったり、旅行会社に「この地域はポイ捨て禁止」といった内容を事前に伝えておき、来る前から告知しておくとの良いのでは。
 - スバナ通りは、コンビニやマンション管理人、商店主や住民の協力のおかげで、目立つゴミはない。自分たちのまちは自分たちで清掃する姿勢が大切だ。
- #### 2. タバコのポイ捨て
- ・商売人の歩きタバコを見かける。
 - ・毎年8月第1土曜日に、ポイ捨て防止キャンペーンを生環協が観光客に対し実施。
 - ・路上喫煙禁止区域の設定は観光客のおもてなしもあり十分な検討を行う必要がある。

3. 犬のフンの放置

- 散歩で、フン回収袋を持たない飼い主がいる。
 - 日中より夜間に放置されることが多く感じる。
 - 現行犯で注意できないとだめ。
 - 狂犬病の予防注射の会場で、放置禁止条例のチラシを入れてみたらどうか。→現在も案内しているが、小さな紙なので大きく目立つようにできるか、検討してみる。(市生活衛生課)
 - 広報紙の片隅にでもPRしてみたらどうか。
 - 不動産会社に転入者への周知依頼を。
- #### 4. その他
- ガムのポイ捨てが目立つ。
 - 空き地に不法投棄がある。→市民センターにご連絡下さい。(市環境総務課)
 - ゴミを拾いながら散歩する人が増えてほしい。

◆いただいたご意見を踏まえ、ポイ捨てが無い、きれいなまちを目指して、今後も取り組みを続けて参ります。



テーマC まちの空き家・廃屋対策！作戦会議 ～「対策集をつくろう！」地域の連携でできること

参加:26人(岡田進行役, オブザーバー[藤沢市市民自治部防犯交通安全課]を含む) 会場:第3談話室

空家等対策の推進に関する特別措置法の概要と、市の取組状況について確認を行いました。その後、参加者が3班に分かれ、1. 空き家から廃屋へ、未然防止作戦 2. 空き家の利活用について 3. 所有者と利活用者との流通促進 以上3つのテーマからテーマを選び、地域の連携でできることについてグループ討議を行いました。

<意見の概要>

1. 空き家から廃屋へ、未然防止作戦

- 住民協定等の制約で売却がうまくいかずに、空き家・廃屋になっているケースがある。協定等の見直しにより空き家・廃屋を減らすことができるかもしれない。
 - 町内会で、土地・空き家・廃屋の所有者を容易に把握できるようになるといい。
 - 市は、空き家を賃貸するための支援を。
 - 他市の事例を参考に、町内会事業に協力する学生に対し、賃貸金額を割引し空き家を賃貸する取組をしたらどうか。
 - 空き家・廃屋の現状の戸数把握を。
 - 空き家に関する情報窓口の開設を。
- #### 2. 空き家の利活用について
- シェアハウスとして利用。
 - 空き家情報のネットワーク化。
 - 空き家情報のインターネット等で公開。
 - ゲストハウスとして活用。海外からの観光客に利用してもらう。
 - 別荘として賃貸。
 - 短期的な賃貸。マリンスポーツ利用者に利用してもらう。
 - デイサービスとして利用。
 - 子育て世代に安く賃貸できる仕組みづくりを。

- コミュニティー・カフェとして利用し、集いの場を。
 - 高齢者の食事を作ったり、食事をするスペースに。
 - JTI(移住・住みかえ支援機構)のマイホーム借上げ制度で、マイホームを借上げ、賃貸住宅として転貸。
- #### 3. 所有者と利活用者との流通促進
- 市・自治町内会・不動産業者が連携し、マッチングを図る。

◆いただいたご意見を踏まえ、片瀬・江の島地域発の対策を検討し、安心・安全なまちづくりを目指して、取り組みを進めて参ります。



テーマB 片瀬公民館の「いいね」！作戦会議 ～参加してみたい講座・事業を企画しよう

参加:14人(鶴見進行役, オブザーバー[片瀬公民館]を含む) 会場:第2談話室

現在公民館で行われている講座・事業をスライドで確認を行いました。その後、こんな公民館講座や事業があれば参加してみたい！と思える企画提案を行いました。

<意見の概要>

1. こんな事業をしてみたい！

- 読書会。
- 外国人を対象とした事業。
- 中・高校生を対象とした事業。
- 事業に参加するきっかけがない人でも参加しやすい勧誘をして欲しい。

- 子どもから大人まで人気のある講師に来てもらう。
- 地域に専門知識を持った方が多くいるので、その方を講師とした講座の実施。
- シリーズものより単発事業の方が参加しやすい。
- 広場やサロンのように同じ趣味同士で集まれる事業。

2. 自分たちで事業企画するためには

- 同じ趣味や興味を持った人が集まり、事業をつくりあげていく環境を公民館で提供して欲しい。
 - 公民館講座・事業に参加したことの無い方を取り込み事業を作っていくためにPRをして欲しい。
 - サークル化を意識した事業の実施
- #### 3. 仕事しているお父さん・お母さんに事業参加してもらうためには
- 子どもの公民館送り迎えだけではなく一緒に事業参加を！
 - 科学実験教室と同時に、大人向け教室！
 - 畑を借りて、親子で参加し土作り～種まき～収穫～料理～試食まで体験できる講座。

○子育ての事業に集まるお母さんにお父さんの関心のあることを聞いて事業化する。

◆いただいたご意見を踏まえ、多くの方に参加いただける講座・事業の提案をして参ります。

